



沢地小だより

第8号 令和2年10月30日



2学期がスタートしました!

秋の気配が一層深まる中、10月12日から2学期がスタートしました。新型コロナウイルス感染症への心配から、始業式はZoomを用いて、オンラインで行いました。

子供たちには1学期の反省として、自分の成長や、もう少し頑張りたいところ等をあらためて考えることや学期間の「節目」大切にして大きく・強く成長して欲しいことを伝えました。

2学期に向けては、夏休み明けに伝えた「自分の目標を持って頑張る強さ」と、「思いやりを持つやさしさ」に加えて、毎日の生活を楽しく前向きな生活を送るために、自分や友達の良い面や魅力、勉強やスポーツの中にある楽しさやよろこびを積極的に見つけて欲しいという想いから、「大好きをいっぱい見つけられる前向きな心」という話をしました。「強さ・やさしさ・前向きな心」を持って生活する沢地っ子の頑張りに期待したいと思います。



Zoomで始業式



引き渡し訓練

また、12日には「引き渡し訓練」も実施しました。晴天に恵まれ、運動場に全児童が間隔に留意しながら整列しました。今年度になり、全校児童が一堂に会するのは今回の引き渡し訓練が初めてでした。子供たちには、東日本大震災における「釜石の奇跡」を例に挙げながら、何事も日頃の取組が大切であるということや「練習でできないことは、本番でもできない」という言葉で伝えました。

2学期には様々な行事が待っています。今後も、御理解・御協力宜しくお願いいたします。

「沢地カーニバル」頑張りました!

10月29日第1・2校時に沢地カーニバルが行われました。例年は土曜日に半日かけて、保護者や地域の方々にも参加いただくイベントですが、残念ながら今年度は児童だけのカーニバルとなりました。子供たちが考えたスローガンは「沢地っ子 協力して最高のカーニバルにしよう」、コロナ禍でも沢地っ子たちは前向きです。どの学級も頑張って準備してきました。昼の放送で行った各クラスのCMも工夫が凝らされていました。



お魚 採ったぞー

当日はさわやかな秋晴れの中、子供らしい手作り感いっぱいの「お店」が開店し、どのお店も沢山の「お客さん」で賑わっていました。各クラスのお店では、お客さんが体験しながら学べるコーナーが並び、コーナーが進むほどワクワクするような、子供から大人まで楽しめる、教員が見習いたくなる程充実した内容でした。

どの子供たちも瞳がきらきら輝いていて、本当に素晴らしい思い出に残る「最高のカーニバル」になったと思います。